

## 形成外科

### ■ スタッフ

科長（センター長）	成島 三長
副科長（副センター長）	石浦 良平

医師 常勤	3名
併任	0名
非常勤	3名
看護師（リンパセラピスト：併任）	4名
大学院生	2名

### ■ 特色・診療対象疾患

キズをきれいに治すこと。それは形成外科医の得意分野です。そして実は、他にも様々な病気に対して「一歩進んだ最新治療」を提供することが私たちの強みです。

「カタチと機能」を取り戻し、人生を前向きに生きるお手伝いをしたい。その想いを胸に、皆さま一人ひとりの状況や希望をお聞きした上で、手術、内服・軟膏治療やレーザー治療、最先端の顕微鏡手術などを組み合わせた治療に取り組んでいます。

#### 1. 当科の特色

- 動きや感覚を取り戻す治療
- リンパ機能を取り戻す治療
- 失われた形を取り戻す治療
- ないものを創り出す治療

#### 2. 主な診療対象疾患

再建外科全般、リンパ浮腫（リンパ管静脈吻合・リンパ節移植・脂肪吸引・ICG検査）、血管腫・血管奇形（外科的治療・硬化療法・再建）、乳房再建（インプラント・穿通枝皮弁移植術）、耳の奇形（小耳症・耳垂裂・垂れ耳・スタール耳・副耳・耳瘻孔）、頭頸部（皮弁・植毛）、四肢（趾移植・筋肉移植・四肢温存術）、顔面神経麻痺（神経移植・筋肉移植・筋膜吊り上げ・眼瞼下垂ほか）、指趾の奇形（多指症・合指症・巨指症・短指症・絞扼輪）、外傷（切断指・顔面挫創・組織欠損に対する再建）、熱傷瘢痕・ケロイド（瘢痕拘縮解除・整容的再建）、眼瞼下垂（先天性・後天性）

### ■ 活動実績

#### 1. 治療実績

- 入院手術 324 件 外来手術 58 件
- 乳房再建 48 件
- リンパ浮腫 35 件
- 頭頸部再建 14 件

#### 2. 教育活動の実績

- 学生・研修医向けハンズオンセミナー（縫合・神経縫合・顕微鏡下血管吻合）
- 国内外からの留学生の受け入れ(UK3名)
- ダイオウイカ大解剖試写会（海の日）
- 第16回日本血管腫血管奇形学会開催

#### 3. 臨床研究等の実績

1: Narushima M, Koshima I. Pure Skin Perforator Flaps: The Anatomical Vascularity of the Superthin Flap. *Plast Reconstr Surg.* 2018;142(3):351e-360e.

2: Ishiura R, Fujita M, Furuya M, Banda C, Narushima M. Skin perforator mapping method for anterolateral thigh flap using indocyanine green angiography. *J Plast Reconstr Aesthet Surg.* 2018;71(10):e64.

3: Banda CH, Narushima M, Ishiura R, Fujita M, Furuya M. Local Flaps with Negative Pressure Wound Therapy in Secondary Reconstruction of Myelomeningocele Wound Necrosis. *Plast Reconstr Surg Glob Open.* 2018 14;6(12)

4: Yamamoto T, Yamamoto N, Fuse Y, Narushima M, Koshima I. Optimal Sites for Supermicrosurgical Lymphaticovenular Anastomosis: An Analysis of Lymphatic Vessel Detection Rates on 840 Surgical Fields in Lower Extremity Lymphedema Patients. *Plast Reconstr Surg.* 2018;142(6):924e-930e.

### ■ 今後の展望

当診療科は、『失った機能や形を回復』させることにより、身体的・精神的苦痛を取り除き、患者さんがよりよい人生を送れるために各科の先生方と協力して治療を行って参ります。また、当科の得意とするスーパーマイクロサージャリーの技術を用いて一歩進んだ治療を行ってゆきます。

<http://www.hosp.mie-u.ac.jp/keiseigeka/>